



ごあいさつ

皆さま方には、平素より格別のご支援、ご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

本年も、当金庫の業務内容や活動状況などにつきましてご理解を深めていただくため、「半田信用金庫2025ディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願いいたします。

令和6年度の経済状況につきましては、雇用・所得環境の改善のもとで、全体としては緩やかな回復基調が続けていますが、一方で中国経済停滞の影響や混迷を深める中東・ウクライナ情勢に加え、米国の新政権が世界経済に与える影響等が懸念されるところであり、国際的な政治・経済情勢が景気の下押し圧力となり得る不確実性の高い状況となっております。

また、中小企業を取り巻く経営環境は、高止まりする物価や賃金水準の上昇等を背景として依然厳しい状況にあり、各事業者が抱える経営課題はますます多様化しています。とりわけ人口減少・少子高齢化の急速な進展のもと、人手不足が中小企業の事業経営に深刻な影響を与えているものと思われます。

金融面では、日本銀行が2024年3月にマイナス金利政策を解除し、2024年度中も段階的に政策金利の変更を続けており、今後も金融市場や国内景気に与える影響を注視する必要があります。

令和6年度は、中期経営計画「はんしん3か年計画 ～地域とともに新たな時代へ～」の初年度であり、「地域に必要とされる金融機関」であるために、お客様のことを真剣に考える姿勢である「お客様第一主義」の徹底と、恒久的な地域への金融サービスの提供を担保する「持続的な収益力向上」を目指し、基本戦略と定めた「収益力の強化」、「顧客基盤の強化」、「組織・人材力の強化」に基づく様々な施策を実践してまいりました。

令和7年度は中期経営計画2年目を迎えました。各施策を着実に推し進めることを通じて、今まで以上に地域社会に愛され、支持され、頼りにされる「地域に必要とされる金融機関」を目指し、役職員一同一層の努力を重ねてまいります。

今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和7年7月

理事長 古田 明典